

🎧 聴読解問題スクリプト

Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選ばばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見てください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

1 番 女子学生と男子学生が掲示を見ながら話しています。この女子学生が、サークルの届出をするためにこれからしようとしていることは、どの条件に関わることですか。

女子学生：「サークルを登録しませんか？」だって。

男子学生：へえ。サークルを大学に届け出れば、活動費をもらうことができるんだね。

女子学生：うん。

男子学生：でも、条件があるのか。

女子学生：ええと……うちのサークル、何人だっけ。

男子学生：23人。全員、教育学部の学生だけど……。

女子学生：この前見学に来た私の友だち、経済学部だよ。

男子学生：そうなの？ じゃ、もう一度誘ってみてよ。入会すればこの条件、クリアできるから。

女子学生：うん、わかった。責任者は田中先生で大丈夫かな。

男子学生：うん。大丈夫だと思うけど、今日、確認してみるよ。

女子学生：よろしく。

男子学生：活動は1年以上してるけど、証明する書類、あるかな。

女子学生：今まで使ってきた学外の練習場、あそこの使用料の領収書がとってある。

男子学生：ってことは、残る問題は……

女子学生：あ、私の方は任せて。早速連絡してみる。

Track 7

2番 先生が、集団で作業をする際の作業量に関する実験について話しています。この実験結果を図にすると、どのようになりますか。

人は、六人で作業をすれば、一人でする作業の六倍の作業ができるのでしょうか。今日は、その、集団で作業をする際の作業量に関する実験について話します。この実験では、被験者に、一人で、二人で、四人で、あるいは六人で、と条件を変えて、手を叩いてもらいました。力を入れて手を叩けば大きい音が出るし、力を抜けば小さくなります。音を大きくするには、より大きな努力が必要です。その音を測定するものとして音圧という指標が使われました。音圧の大小は、音を出すための努力の量の大小を表していると言えます。実験の結果、一人の時より二人の時、というように、集団に属する人数が多くなるほど、一人当たりの音圧は減少することがわかりました。つまり、六人で作業をしても六倍の作業はできないということですね。

Track 8

3番 先生が、教育学の授業で、家庭の教育について話しています。この先生は、家庭の教育力の低下に最も影響しているのは、グラフのどの項目だと言っていますか。

近年、家庭の教育力が低下していると言われます。家庭教育を支援している各地の民間団体を対象に行ったある調査では、実に全体の85%が「低下している」と回答しました。このグラフはそう考える理由を表したものです。上位を見ると、親のしつけや経験不足が問題だとする意見が多いことがわかります。また、家族の形態が、祖父母が一緒に住んでいない、いわゆる核家族になってきたことも、大きな原因の一つと考えられているようです。しかし、重要なのは、むしろ、そうした家庭を取り巻く環境の方ではないかと思えます。昔は、隣近所との付き合いが今よりもっと濃くて、親が周囲の人から子どもの教育について学ぶ機会も多かったのですが、今は人と人との関わりが薄れてしまいました。それが家庭の教育力の低下に大きく影響しているのではないのでしょうか。

Track 9

4番 スポーツ大会の委員達が反省会をしています。反省点の一つである“配付資料”は次回からどのような形式にしますか。

男性2：それじゃ、次に配付資料について考えたいと思います。ご意見をどうぞ。

女性：配付資料が多かったので、委員から説明をうけるときに、どの資料を見ればいいのかのかわかりにくかったという意見が多数ありました。

男性1：うん、確かに多かったですね。今回は進行係とか会場係とか、係ごとに資料を別々にとじて、右上に大きく番号を振ったらどうでしょうか。

女 性：いや、番号を振る意味はあまりないんじゃないですか。むしろ係ごとの資料の表紙にそれぞれ目次をつけたらどうでしょうか。

男性1：そうか……そうすれば「進行係」の資料の何ページ……と言えばいいからね。うん、そうしましょう。

男性2：目次を入れるなら、全部一冊にまとめたほうがもっとわかり易いんじゃないですか。同じような資料が何種類もあるっていうのはかえってまぎらわしいと思いますよ。

女 性：そうか……。

男性1：じゃ、今回は表紙に係とその資料のページを一覧にして印刷するというこでやってみましょうか。

Track 10

5 番 先生が、経営学の授業で、企業の業界での位置について話しています。この先生が最後に挙げる例は、資料のどこにあてはまりますか。

企業が成功するには、その企業が業界内でどのような位置にあるかということを知っておくことがとても重要です。企業の位置は、この資料にあるような4つのタイプに分けられます。「量」というのは、業界でその企業の製品やサービスが市場にどれくらい出回っているかを表しています。「質」というのは、その製品の良し悪しで、普通は、質が高いほど大きな利益を得ることができると考えられます。

ある会社を例に考えてみましょう。この会社は幼児向けの絵本を専門に出版しているのですが、出版する絵本の多くが読者に高く評価され、根強い支持を得ています。出版物全体の市場から見れば絵本の市場は小さなものです。この会社の出版部数も、多くありません。けれども、絵本という特定の市場で、この会社は確実に収益を上げています。

Track 11

6 番 先生が記憶の過程について話しています。この先生は、アルツハイマー病の初期には脳の障害によって、記憶のどの過程に問題が生じると言っていますか。

では、私たちがものを記憶する過程について説明しましょう。図のように、まず情報が脳の中に登録されます。しかし、これだけでは記憶はすぐに消えてしまいます。脳のある部分で、その情報に何らかの処理が行われて初めて、記憶として保たれます。そして、必要になったときに、しまっていた記憶情報を探して取り出す、というわけです。

こういった記憶の過程には、それぞれ脳の異なった場所が関わっています。したがって、脳に障害がある場合、その障害が起きた場所によって現れる症状も異なります。

例えば、有名なアルツハイマー病ですが、この病気の初期にはものを覚えることができないという症状が出ます。食事をしたばかりなのに食べたこと自体覚えていない、とい

たことが起きるのです。これは、脳の情報を登録する部分に障害が生じ、脳に新しい情報を覚えこませることができなくなるために起こるものです。

Track 12

7番 男子学生と女子学生が、小学生の話し合いのしかたについて話しています。この女子学生が、今日、新しく加えたルールはどれですか。

男子学生：これ、ボランティアで参加している子ども会の活動？

女子学生：うん。子どもたちが自分達で話し合っ決めてプロジェクトなんだけど、他の子の意見を最後まで聞かなかつたり、途中で怒り出しちゃつたりして、うまく進まないから、話し合いのルールを作つたんだ。

男子学生：へえ。それで、うまく話し合いができるようになった？

女子学生：だいたいね。でも、今日、ルールを一つ追加したの。

男子学生：なんで？

女子学生：先週の集まりの後、帰り道で、意見の違う子どもたちが、お互いに相手を批判してけんかになつちやつたんだって。

男子学生：へえ。それで、このルールを加えたんだね。

女子学生：そう。

Track 13

8番 生物学の先生が、動物の体の大きさと、子孫を残せる度合いとの関係について説明しています。一夫一妻方式の動物について、先生の説明をグラフにすると、どのようになりますか。

メスが子供を作るためには、たくさんの栄養やエネルギーが必要です。ですから、メスは、体が大きければ大きいほど子孫を残せる度合いも増すということになります。

一方オスが子孫を残せる度合いは、その動物がどういう配偶システムをとっているかによって変わってきます。例えば、一匹のオスが複数のメスを従えるような一夫多妻方式のシステムをとっている動物においては、オスは他のオスと戦って勝たなければ自分の子孫を残すことはできません。他のオスと戦うためには体が大きいほうが圧倒的に有利ですから、オスが子孫を残せる度合いは、体が小さい時には極めて低く、体が大きくなると急激に増加する、ということになります。一方、一匹のオスと一匹のメスが対になるような一夫一妻方式をとっている動物では、オスの体の大きさと、子孫を残せる度合いの間には、ほとんど関係はありません。

9番 男子学生と女子学生が、商品やメーカーに対する好感度について話しています。
この男子学生は、表のどの点数に注目していますか。

男子学生：ねえ、これ、見て。(紙の音)

女子学生：ん？

男子学生：商品のデザインについての授業でもらった資料なんだけどね。商品の性能やデザインの良し悪しによって、ユーザーが商品そのものやメーカーにどの程度いい印象を持つかを点数化したものなんだ。

女子学生：えーと……、つまり、性能が良くて、デザインもいいっていう商品の好感度は、100点ってこと？

男子学生：そう。

女子学生：へえ。デザインは良くても性能が良くないと、好感度はこんなに下がっちゃうんだね。

男子学生：うん。でもね、おもしろいのは、デザインも性能も良くない場合の好感度がゼロじゃないってことなんだよ。

女子学生：あ、ほんとだ。

男子学生：デザインが悪いと、初めからその商品に期待しないのかな。だから、性能が悪くても、それが理由で印象が悪くなることはないのかも。

女子学生：なるほど。

10番 先生が、人間工学の授業で、椅子の寸法と人間の体の関係について話しています。
この先生が説明しているのは、図のどの部分の長さについてですか。

座り心地の良い椅子を選ぶには、どのような点に気をつけたらいいでしょうか。人間工学的には、体にかかる圧力が分散しているほど座り心地が良くなる、とされています。座ったときに体にかかる圧力を分散させるには、座る人の体の大きさと椅子の大きさとが合っていることが肝心です。

まず、座面が高すぎると、体の重さに加えて足の重さまで、腿やお尻にかかってしまいます。逆に座面が低すぎると、腿が座面から浮くため、腰とお尻に圧力が集中してしまいます。そのため、最も良いのは、座面の高さが下脚部、つまりひざの内側からかかとまでの長さと同じになるようなときです。そうすると座ったときに体にかかる圧力を分散させることができるのです。

11番 先生が、社会学の授業で、人間関係の領域について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

この図は、人間関係の領域を、親しさの程度に応じてモデル化したものです。「自分」を中心とし、その外が「ミウチ」「セケン」「タニン」に分類されています。「自分」と最も親しい関係に、「ミウチ」という領域があります。そこには、家族や親族を中心とする人たちがいて、少しぐらい迷惑をかけても自分の存在を否定されることはありません。一方で、日常生活でほとんど関わりがなく、自分への評価を気にする必要がないのが「タニン」という領域の人々です。「ミウチ」と「タニン」の間には「セケン」と呼ばれる領域があります。たとえば同じ村落に住む人々といった地域社会などがこの領域の中にあります。「セケン」の人々は、互いに依存し合いながらも甘えることは許されない関係にある生活共同体です。「セケン」でルールを守らなかったら批判を浴び、共同体の中で生きていくのが難しくなるわけで、人々は、「セケン」の日を気にして生きてきました。

しかし、近年、都市化が進んだ地域では、人々が互いに助け合わなくても生きていけるようになり、近所の人の目を気にしない人々が増加しています。ということは、地域社会は、図のどの領域からどの領域へ移行しているということでしょうか。

12番 先生が、植物の生育と競争の関係について、話しています。植物自体にとって、本来の最適な条件の場所に生育しているのは、図のどの植物ですか。

今日は、植物の生育場所がどのように決まるのかということについてお話ししましょう。

この図は、水分量が異なる土に、ある植物 A、B、C を混ぜて植えた場合、それぞれの植物が、どの水分量のところでよく生長するかを表したものです。それぞれ、よく生長する場所が異なっていますね。

実はこれらの3種類の植物は、それぞれ一種類の植物だけを植えた場合、いずれも、乾きすぎず湿りすぎでないところで最大の生長量を示します。つまり、この3種類の植物にとって、本来、土壌の最適な水分量はほぼ同じというわけです。この図では、横軸のほぼ中央が、乾きすぎず湿りすぎでない最適な水分量のところですが、ここは、どの植物にとっても生育に最適な場所ですが、競争に勝った植物がこの場所で生長するということになります。この場所での競争に敗れた植物は、生育条件として本来は好ましくない、別の場所で生長しているというわけです。

このように植物は、よく生長する場所が必ずしもその植物自体にとって最適な条件の場所であるとは限りません。植物は、他の植物と競争するなかで、生育できる場所を見つけて生き残る、というのが自然の実態なんです。

● 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらおう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生が、大学の事務室でプロジェクターという器械を借りようとしています。この男子学生はこのあとどうしますか。

男子学生：すみません、プロジェクターの貸出しをお願いしたいんですが。

職員：授業ですか。

男子学生：はい。演習で研究発表をするのに使いたいです。

職員：ええと、教室は、どこですか。

男子学生：1階の15番教室です。

職員：あ、あそこだと、教室にプロジェクターとスクリーンが設置されてますから、この鍵で教室を開けたら、すぐ使えますよ。

男子学生：えっ、そうなんですか。でも、使い方がわからないんですけど、どうすればいいでしょうか。

職員：ああ、そうですね。じゃ、今、係の者が行きますから、ちょっと待っててくだ

さい。

男子学生：すみません、お願いします。

この男子学生はこのあとどうしますか。

1. 係の人にプロジェクターの使い方を教えてもらう。
2. プロジェクターを借りて教室に運ぶ。
3. 係の人が教室にプロジェクターを設置するのを待つ。
4. 事務室でプロジェクターの説明書もらう。

Track 23

14番 学生が、発表で、「道の駅」という施設について説明しています。この学生は、このあと「道の駅」のどんな問題について発表しますか。

「道の駅」は、一般道路を車で移動する人たちが利用できる施設です。ここには、トイレや休憩場所があるだけでなく、その地域で採れた農産物を売っていたり、道路案内や地域の文化を紹介するコーナーがあったりします。新鮮な野菜が安く手に入ったり、その土地の文化に触れられたりするため、観光客に人気があります。このように、「道の駅」は地域の活性化に役立っているはずなのですが、中には、地域の人々から不満が出る場合があることがわかりました。「道の駅」がとても充実した楽しい場所になったために、観光客はそこだけで満足して、その地域の町や村へは立寄らずに通り過ぎるようになってしまったのだそうです。今日はこのような問題が起こっている地域の現状について、調査したことを報告したいと思います。

この学生は、このあと「道の駅」のどんな問題について発表しますか。

1. 「道の駅」の周辺地域の観光客が減ったこと
2. 「道の駅」を利用する観光客が増えすぎたこと
3. 「道の駅」で紹介されている文化が、一部の地域のものだけであるということ
4. 「道の駅」で提供されているサービスが低下したこと

Track 24

15番 先生が、心理学の授業で、うそについて話しています。この先生は、人間が繰り返し言うことができるのは、どんなうそだと言っていますか。

「うそから出たまこと」という言葉がありますね。実際に、うそが本当になるというのは、よくあることなんです。例えば、うそだと思っけていても、相手を「勉強家だね」と言

い続けていると、その人が本当に勉強熱心になる、というようなことは結構あります。

しかし、「勉強家だね」とほめるにしても、あまり勉強していない人に対して言い続けるのは難しいですね。人間というのは、ふつう繰り返しうそを言うのが苦手なんです。ですから、うそをつき続けるためには、うその中にもある程度の真実味がある、ということが必要不可欠なんです。

この先生は、人間が繰り返し言うことができるのは、どんなうそだと言っていますか。

1. 明らかにうそだとわかるうそ
2. 少しは本当のことが含まれるうそ
3. 他人をほめるためのうそ
4. 真実を隠すためのうそ

Track 25

16番 大学の職員と学生が電話で話しています。この学生は入学願書をどうしますか。

職員：はい、入学事務室です。

学生：もしもし、そちらの大学の受験を考えているので、入学願書を送っていただきたいんですが……。

職員：あの、東京の方ですか。

学生：そうですけど。

職員：だったら、ちょうど明日から学園祭があるんですけど、よろしかったら、いらっしやいませんか。実際に大学の中をご自分の目でご覧になれば、大学の雰囲気などもよくわかると思いますよ。

学生：学園祭ですか……。

職員：学園祭でも入学願書を買うことができます。もちろん、書店でも買うことができますし、こちらからお送りすることもできますよ。

学生：そうですか。じゃあ、伺います。

この学生は、入学願書をどうしますか。

1. 自宅に送ってもらう。
2. 学園祭に行って買う。
3. 本屋に行って買う。
4. 事務室に送ってもらう。

17番 先生が魚のえさと成長の関係について話しています。この先生の話によると、体の小さい魚は、どんな場所でよりよく成長しますか。

川にすむ魚の中には、上流から流れてくる虫などを食べて生きるものがあります。当然ながら、川の中にも、えさがたくさん流れてくる場所と、そうでない場所があります。みなさんは、えさがたくさん流れてくる場所を取ったほうがいいと思うのではないのでしょうか。確かに大きい魚の場合はそうなのですが、小さい魚の場合はちょっと違うのです。なぜかという、えさがたくさん流れてくる場所は、川の流が速いので、このような場所に留まってえさを待つには、より多くのエネルギーを使ってしまうのです。逆に、川の流が遅ければ、エネルギーの消費は少なく済みます。小さい魚は、あまりエネルギーを消費しなくてすむ場所にいた方が、体が成長しやすいのです。

この先生の話によると、体の小さい魚は、どんな場所でよりよく成長しますか。

1. 流れの遅い場所
2. 流れの速い場所
3. えさが多い場所
4. 上流に近い場所

18番 女子学生と男子学生が日記について話しています。女子学生は日記にどのようなことを書いていると言っていますか。

女子学生：先月から、日記を書き始めたんだ。

男子学生：え？ 日記？

女子学生：日記っていっても、毎日のできごとを書いてるんじゃないよ。

男子学生：じゃあ、何書いているの？

女子学生：うーん、たとえばね、努力家の人を見て、いいなあ、私もそうなりたくなって思ったら、「私は努力できる人間です」っていうように目標を書くの。

男子学生：へー、「努力家になれますように」じゃなくて、まるで実現したように書くんだ。

女子学生：そう、そのほうが肯定的でしょ。願いごととして書くんじゃないの。

男子学生：へえ。知り合いに、その日のよかったことだけを日記に書いてる人がいて、よくいいことばかり探せるなって感心したんだけど、目標を毎日書くのも大変だね。

女子学生は日記にどのようなことを書いていると言っていますか。

1. その日のできごと
2. その日のよかったこと
3. その日決めた目標
4. その日達成した目標

Track 28

19番 先生が授業で、ある銀行が行った取り組みについて話しています。この先生は、この取り組みによって生まれた予想外の効果とはどんなことだと言っていますか。

今日は、ある地方の銀行の取り組みを紹介します。この銀行では、仕事で、市内の会社や商店などのお客さんのところに行くとき、自動車を使っていました。しかし、経費を抑え、同時に二酸化炭素の排出量も減らそうということで、自動車をやめて、自転車に変えることにしました。その結果、ガソリン代などの費用を大幅に削減することができました。そして、二酸化炭素の排出量も目標の数値に近づけることができました。また、思わぬ収穫もありました。自転車で回ると、車では通れなかったいろいろな道を通ることができました。そこには以前は目に入らなかった会社や商店があり、それが新しい取引に結びついたということです。

この先生は、この取り組みによって生まれた予想外の効果とはどんなことだと言っていますか。

1. 二酸化炭素の排出量を削減できたこと
2. お客さんのところへ行く時間を短縮できたこと
3. 経費を大幅に節減できたこと
4. 新しいお客さんを増やすことができたこと

Track 29

20番 テレビ番組で、レポーターが化学薬品の農薬のかわりに虫を使う新しい方法についてレポートしています。この新しい方法では、虫をまくのに一番よい時期はいつですか。

レポーター：こちらのイチゴ農家では、農作物を食い荒らす害虫を殺すのに、化学薬品の農薬ではなく、害虫の天敵、つまり、害虫をえさとして食べる虫を使用しているそうです。この方法は、従来より農薬の使用量を減らせるため、注目されています。では、農家の方にお話を伺います。あのう、この新しい方法で

は虫をまく時期が重要だと伺ったんですが……。

農家：ええ、虫をまく時期によって効果に差がでるんです。害虫が増えすぎてから害虫を食べる虫をまいても、あまり効果はありません。あと、害虫を食べる虫にとっては害虫がえさになるわけですから、害虫自体がいない時期にまいても意味がないですし、また虫を買ってから何か月もおいておくと、まく前に虫が死んでしまうこともあります。害虫が発生し始めて、これから増えるというときにまけば、害虫が増えるのに比例して害虫を食べる虫も増え、被害を押さえることができるので最も効果的です。

この新しい方法では、虫をまくのに一番よい時期はいつですか。

1. 害虫が発生する前
2. 害虫が増え始める時
3. 害虫が十分増えてから
4. 害虫を食べる虫を購入して数か月たってから

Track 30

21番 先生が、「科学を利用した商売」というテーマで話しています。この先生は、商品を売るために、科学がどのように利用されていると言っていますか。

ある商品を売るときに、科学の専門用語を利用して説明することで、消費者にいい商品だと思わせる方法がよく使われます。例えば、電化製品の新しい機能を、プラズマなど、難しくて意味がよくわからない言葉で表すやり方です。しかし、こういった、なじみのない専門用語の本当の意味をきちんと理解している人がどれだけいるのでしょうか。どんな効果があるのかははっきりしないけれど、難しそうな言葉を使っているのも特別な意味があるような気がする。何となくありがたく思える。消費者のそんな心理を、物を売るのに上手く利用しているというわけです。

この先生は、商品を売るために、科学がどのように利用されていると言っていますか。

1. 商品を開発するのに、科学を利用する。
2. 商品の効能を証明するのに、科学を利用する。
3. 商品の特徴を表現するのに、科学の専門用語を利用する。
4. 消費者の心理を分析するのに、科学的方法を利用する。

22番 女子学生と男子学生が、大学が実施した授業アンケート調査について話しています。この女子学生は、このアンケートで何について質問すべきだったと言っていますか。

女子学生：このあいだの、授業に関するアンケートだけどさ。

男子学生：ああ、学生がどれだけ授業に満足してるかっていうアンケートね。授業以外のことについても、いろいろな質問があったね。

女子学生：うん。結果が大学新聞に出てるんだけど、「授業以外で、短時間でも先生と話をしていますか」って質問に「よく話してる」って答えた人たちは、授業への満足度が高かったんだって。

男子学生：授業の内容について話してるからじゃないかな。

女子学生：でも、どんなことについて話してるかっていう質問はなかったでしょう。授業の話をしているとは限らないから、そういう質問があったほうが良かったよね。

男子学生：そうかなあ。それより、授業を評価するときどんな点を重視しているか聞いたほうが意味があったと思うな。

この女子学生は、このアンケートで何について質問すべきだったと言っていますか。

1. 授業以外で先生と話す内容
2. 授業以外で先生と話す頻度
3. 授業への満足度
4. 授業を評価するポイント

23番 男子学生と女子学生が、工場見学について話しています。この男子学生が感心したのは、どんなことですか。

男子学生：先週、ファスナー工場の見学に行ったんだ。

女子学生：ファスナーって、ズボンとか鞆の口に使う、あれ？

男子学生：そう。工場の中に機械がたくさんあるんだけど、すごく静かなんだ。

女子学生：なんで？ 人はいないの？

男子学生：ううん。人はいるんだけど、機械とか品物を時々チェックするだけで、ファスナーを作るのは全部機械なんだって。

女子学生：そうか。やっぱり大量生産には機械がいいんだね。

男子学生：それが違うんだよ。ファスナーを一本だけ作ってほしいっていう注文も多いんだって。

女子学生：えーっ、そんな注文にも対応できるんだ。

男子学生：そう、寸法とか素材とかの要望に応えられる柔軟なシステムが整ってるんだよね。

女子学生：へえ。すごいね。

男子学生：でも、僕はそれより、有名なブランドの製品に使うファスナーだけじゃなくて、値段の安い服なんかにも使うファスナーも、質や機能を落とさずに同じように作ってるってことがすごいと思ったんだ。

女子学生：ふーん。そうなんだ。

この男子学生が一番感心したのは、どんなことですか。

1. たくさんの機械が動いているのに、静かなこと
2. 製造工程がすべて機械化されていること
3. 少ない注文にも対応できるシステムが整っていること
4. ファスナーを使用する製品の値段に関わらず、同じ品質であること

Track 33

24番 先生が、二酸化炭素と穀物の収穫量について、ある実験の内容を話しています。この実験では、米の収穫量が増えた場合と増えなかった場合とがありましたが、米の収穫量が増えなかったのは、どうしてですか。

植物は、太陽の光と水と二酸化炭素が十分にあると、光合成を活発に行います。現在、二酸化炭素の増加が地球環境の大きな問題となっていますが、二酸化炭素が増えているのであれば、光合成が盛んになり、穀物の収穫量が増えるということになるのではないのでしょうか。

その点を確認するために、二酸化炭素が多い環境で実験的に穀物を育てて収穫量を調べた研究者がいます。その実験の結果、米を収穫するイネなどは、窒素やリン酸といった成分を肥料として与えると、二酸化炭素の濃度が上がるに従って収穫量は増えますが、そうした肥料を与えないと、二酸化炭素を増やしても収穫量は増えませんでした。一方、トウモロコシなどは、二酸化炭素がある濃度以上になると、むしろ収穫量は減ってしまいました。

この実験で、米の収穫量が増えなかったのは、どうしてですか。

1. 空気中の二酸化炭素濃度を一定量以上にしたから
2. 地球温暖化で二酸化炭素が増加したから
3. 肥料は与えたが、二酸化炭素は増やさなかったから
4. 窒素やリン酸の入った肥料を与えなかったから

25番 先生が、地理学の授業で「景観」について話しています。この先生は、都市と景観の関係をどのように言っていますか。

町の景観というのは、人々が暮らしの中で形作ってきた人工物と、その基盤にある自然物が、相互に混ざり合ったもので、地域的なまとまりを形成しています。ですから、その地域にもともとあるものだけではなく、後から新しく加わったものも景観の一部となります。景観は変化し続けるものだと考えていいでしょう。

都市は様々な整備や開発を経て成長していきます。都市の整備や開発が、他の部分にプラスの影響を及ぼしたりマイナスの影響を及ぼしたりした結果、また新たな開発が行われて、都市が成長していきます。その成長の過程は、景観の形成や変化としてとらえることができます。

この先生は、都市と景観の関係をどのように言っていますか。

1. 景観は都市の開発に関係なく変化し続ける。
2. 景観は都市の成長とともに変化する。
3. 都市が開発されると景観は悪くなる。
4. 景観の変化は、都市にとって有益なことである。

26番 先生が、会計学の授業で、企業の費用の分類のしかたについて説明しています。この先生が説明している「変動費」にあたるのは、どのような費用ですか。

企業が製品を作って売するためには、さまざまな「費用」がかかります。この「費用」は、「変動費」と「固定費」に分類することができます。

「変動費」とは、生産量が増えれば、それに比例して増加していく費用のことです。例えばパン工場で考えると、小麦粉や塩といった原材料の費用などが変動費にあたります。

それに対して、「固定費」とは、生産量が増減しても変わらずに発生する費用のことです。企業は、工場の設備など、生産するための能力を一定水準に維持した上で生産活動を行っています。機械や設備の費用などは、生産量の増減にかかわらず発生するもので、固定費に分類されます。

この先生が説明している「変動費」にあたるのは、どのような費用ですか。

1. 工場の建物の修理にかかる費用
2. 宣伝のための広告にかかる費用
3. 作った製品を入れる袋にかかる費用

4. 工場の機械を借りるのにかかる費用

Track 36

27番 先生が、生理学の授業で、目の錯覚について話しています。この先生は、錯覚が起こるのはなぜだと言っていますか。

暗いところで、動くはずのない物が動いて見える、という経験をしたことはないでしょうか。例えば、真っ暗な部屋の中で、たばこに火をつけて置いてみましょう。そして、その火をじっと見つめます。しばらくすると、たばこの火が動き始めます。見つめれば見つめるほど、動きは大きくなります。不思議な現象ですが、これを脳の働きで説明する仮説があるのでお話しします。

これは、一点をじっとみつめた結果、目の筋肉が疲れて起こるのです。筋肉が疲れると、目は見つめていた一点から離れて動き出します。それでも、対象を見続けるため、脳が目の動きを修正するように筋肉に命令を送ります。すると、目は一点にあわせようとして動くのですが、脳は、この動きを、見ているもの、つまり火が動いていると勘違いするので、こうして、止まっているたばこの火が動いているように錯覚するのです。

この先生は、錯覚が起こるのはなぜだと言っていますか。

1. 脳が、疲れた目の筋肉を休ませようとするため
2. 目が、動いているものを追いかけるため
3. 脳が、目の動きを、見ているものの動きと理解するため
4. 脳が、目に間違った命令を送ってしまうため